



ライフケア大手門 ぐるーぷほーむ通信



令和5年12月号

徐々に年末の慌ただしさが聞こえだす時期となりました。皆様いかがおすごでしょうか。ご入居者、スタッフ共にコロナ、インフルエンザ感染することなく過ごしております。今年も11月10日にインフルエンザ予防接種を終了しました。その後体調不良なく経過しております。

さて、10月19日のグループホーム運営推進会議では、今回も沢山のご参加を頂き、誠にありがとうございました。コロナ後段階的に通常の開催方法に戻しておりましたが、ようやく今回ホーム内での開催となり、数々の意見や質問等大変活気のある会議となりました。今回は「外部評価」という内容でお話させていただきました。福岡県での実施義務の通り、年に一回外部評価を行っております。

また、11月14日に今年度第2回目となる消防避難訓練を行いました。福岡市消防局 防災センターの職員様2名とご家族3名にご参加いただき、火災のお話や通報模擬訓練を行いました。さらに火災報知器の音が鳴るなか、夜間火災発生の想定で実際に屋上に避難誘導を行いました。その後、消火器を使用し訓練をしました。今後の訓練にも活かしていきたいと思います。ご家族からは「夜間だと職員が1名なので大変そう」「皆さん認知症があるので、その日によって調子が変わって来ると思うので大変そう」などのご意見をいただきました。

11月23日は、福岡県主催の《介護の日 認知症あったかホームコンサート》に職員4名と入居者全員で参加しました。主任が実行委員をしているため開催会場に参加し、ホームはオンラインで参加しました。コンサートでは、流れてくる音楽に合わせて皆さん手拍子をしたり口ずさむなど、楽しんでいる様子がうかがえました。「楽しかった」という声があってありました。

ホームの様子としては、10月25日、11月22日と生花教室を行いました。花の仕分けは、地域のボランティアの方が2名手伝って下さっています。それぞれ花瓶を選ぶところから始め、一つ一つゆっくりと花を見ながら長さなどを調整されました。月に1回は、地域の保育園児達が元気がお顔を見せに来てくれています。10月26日、11月30日に来設してくれました。時折声援を送りながら、園児たちのお遊戯を笑顔で楽しそうに鑑賞されていました。また、他には10月27日にグループホーム秋祭りを開催しました。昼食には秋野菜の天ぷらに茶碗蒸し、栗ご飯と秋らしい食事を提供しました。レクリエーションとしてお化け退治ゲーム・落ち葉拾いゲーム・紙漉き体験などをを行いました。ご入居者は楽しんで参加され、ゲームの結果に一喜一憂されている姿がありました。午前中にみんなで力を合わせて作ったモンブランを、おやつに美味しく頂きました。10月12日より2週間、福岡介護専門学校（福岡）の学生2名が実習に来られていました。学生と一緒に話をしたり、体操や活動に取り組んだり楽しそうにされておりました。

日常的に、ホームの体操に参加したり自身の洗濯物、米とぎ、メニュー書きをしたりとそれぞれが役割を持って活動を行っております。気候も良くなり、10月には全員を散歩等の外出支援を行いました。「風が気持ちいいね」「こんなになってたんだね」など辺りを見渡しながらかスタッフと笑顔で楽しまれておりました。

面会については10月より緩和され、毎日の面会が可能となりました。外出についても、感染予防にご配慮いただくかたちで、制限を設けずに可能となっております。ご入居者は、ご家族の顔を見ると安心したような表情をされます。

年末に向け、皆様体調を崩されませんように、どうぞよいお年をお迎えください。

令和5年12月 介護リーダー K・M

新入居者の お知らせ

新しいご入居者が入られました。皆様どうぞ、よろしくお願いいたします。



よろしくお願いします！

新スタッフの お知らせ

11月16日より、ホームに新しい介護職員が入職いたしました。



よろしくお願いします！

運営推進会議 ホーム(6階)の中で行いました！



参加者14名で行いました。運営状況報告後、昨年度の外部評価の結果立案した、今年度の目標達成計画について進捗を報告し、まだ達成できていない事柄については、皆様に助言をいただきながら達成に向けて話し合いました。活気ある会となりました。



消防避難訓練



**認知症あったか
ホームコンサート2023**



**大手門保育園
来設**



お誕生日会



秋祭り



日頃の様子



ニューサポコラム 第16回

「ヒートショック注意報」

気温の変化によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起こることを「ヒートショック」といいます。この血圧の急激な変化に伴って、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの病気が起こります。11月～2月までの時期がヒートショックの好発時期です。ヒートショックは冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所に移動し、浴槽に入るときなどに起こりやすいと言われています。リビングから脱衣所に移動した際には、寒さに対応するために血圧が上昇します。そこで衣服を脱ぎ、浴室へ入るとさらに血圧は上昇します。その後、浴槽に入ると、急に身体が温まるため、血圧が下降します。特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており、注意が必要です。特にヒートショックに注意が必要なのは高齢者です。入浴前に家族などが声かけしておく事が大切です。

予防するためには「室温18度以上、湿度40%以上」が必要であり、脱衣所やトイレに電気式パネルヒーターをおく、窓に断熱材を貼る、カーテンを床までつく長さにするといった対策が必要です。暖房器具がない場合でも、シャワーを使ってお湯の溜めるなどをするだけでも浴室が温まります。浴槽から出るときはゆっくり出るようにして、急激な血圧の変化を防ぎましょう。

株式会社 New Support様より

